

暖房機器からの

火災を防ぐためのポイント！

寒さが増し暖房器具を使う機会が多くなる季節、ちょっとした不注意や誤った使用方法から『火災』につながる可能性があります。

みなさん一人一人が暖房器具の取扱いに注意することで火災をなくし、大切な家族や自分自身の命を守りましょう。

☆ 衣類などの可燃物の近くで使用しない

- ・ストーブの上で洗濯物などを干すのはやめましょう
- ・カーテンや衣類、布団、ふすまなどのそばでは使用しないようにしましょう



☆ スプレー缶などを暖房器具のそばに置かない

- ・スプレー缶などを暖房器具のそばに置いておくと、放射熱で加熱され、缶の内圧が上昇して破裂し、漏れたガスに引火するおそれがあるので絶対やめましょう。

また、近くでの使用は厳禁です



☆ 寝る時や外出時には必ず火を消す

- 布団などが接触して火災となるおそれがあるので、寝る時や外出するときは暖房器具のスイッチを切る習慣を身に付けましょう
- ストーブやファンヒーターを長時間使用しないとき、誤ってスイッチが入ることを防ぐためにコンセントを抜きましょう



☆ カートリッジタンクの口金は確実に締まったことを確認してからセットする

- 給油時は必ず消火し、火が消えたことを確かめてから給油しましょう
- 給油後は、火気のないところで一度カートリッジタンクをひっくり返し灯油が漏れないことを確認してからセットしましょう



暖房器具を安全に使用して事故を予防するために、取扱説明書・注意事項などをよく読んで正しい使用方法を心がけてください。

その他火災を早期に発見するために、住宅用火災警報器は全ての寝室、階段、台所(任意設置)に設置しましょう。